

活用ください 地域福祉館登録制度・小地域ネットワーク支えあい補助金

■地域福祉館登録制度

- ◇定期的・継続的な活動を行っていただくため、小地域ネットワーク活動を行う福祉活動団体は各地域福祉館に登録できます
- ◇登録団体の年間活動計画に基づく活動は、地域福祉館の使用許可の申請が使用希望日の6カ月前の1日からできます。それ以外の活動の使用許可の申請は、これまでと同じ使用希望日の1カ月前の1日から(休館日のときは次の開館日)



福祉活動に活用

◇登録要件

- ①団体の名称、目的、活動内容などを定めた規約があること
- ②団体の構成員と役員名などが分かる会員名簿があること
- ③小地域ネットワーク活動を行うための会議など、地域福祉館などを活用して行う具体的な年間活動計画があること

■小地域ネットワーク支えあい補助金

- ◇小地域ネットワークの自主研修会や地域住民相互の交流促進を目的としたイベントなどを行う校区社会福祉協議会に対して助成します
- ◇対象 以下の活動を実施・主催する校区社会福祉協議会
 - ①地域における福祉活動の活性化、活動団体の連携強化・情報の共有化の促進を目的とする活動
 - ②地域福祉館の職員が市社会福祉協議会支部の職員、地域福祉支援員が参加する活動
 - ③国、県や本市などから他の補助金を受けていない活動
- ◇助成額 対象経費の3分の2(1団体5万円が上限)
- ◇対象経費 講師などへの謝金、消耗品費、茶菓子代程度の飲食費、印刷製本費、原材料費、通信運搬費、保険料、賃借料など
- ―共通事項―
- ◇申請受付開始 6月1日(月) ◇詳しくは地域福祉課へ



ご利用ください 地域福祉館

市民の皆さんがより利用しやすいように、6月1日から開館日を拡大し、夜間も職員が常駐します。

◇利用時間 9時～21時 ※事前の許可により22時まで延長可

◇休館日 毎月第2月曜日、年末年始(12月29日～1月3日)

◇地域福祉館一覧

館名	住所	電話番号	館名	住所	電話番号
真砂	真砂本町50-7	254-5592	紫原	紫原六丁目14-1	255-6736
玉里	玉里町27-38	220-1548	八幡	下荒田二丁目7-33	250-2072
甲東	新屋敷町6-35	223-2003	西谷山	上福元町5740-2	267-8351
上町	清水町6-27	247-8962	桜ヶ丘	桜ヶ丘五丁目34-2	265-2920
西紫原	紫原四丁目37-2	257-1082	田上台	田上台二丁目40-2	265-2955
城西	薬師二丁目21-40	254-9376	谷山北	山田町2034	264-4816
武	武二丁目28-7	252-7320	吉野	吉野町2051-2	243-4926
東谷山	東谷山六丁目45-18	266-1059	西陵	西陵六丁目10-10	281-4404
松原	松原町2-24	225-5374	唐湊	唐湊二丁目5-1	252-4968
鴨池	鴨池二丁目19-17	256-3831	星ヶ峯	星ヶ峯二丁目26-6	264-4416
宇宿	宇宿一丁目56-10	257-9890	坂元	東坂元二丁目6-2	247-9750
西伊敷	西伊敷三丁目16-17	229-5981	たてば	下竜尾町10-30	248-3900
坂之上	坂之上四丁目15-2	261-4240	皇徳寺	皇徳寺二丁目2-2	275-1887
甲南	上之園町20-15	256-3771	谷山	谷山中央七丁目33-17	266-0294
武岡	武岡五丁目3-8	282-8294	田上	田上一丁目29-9	259-7557
玉里団地	玉里団地一丁目79-50	229-4849	花野	花野光ヶ丘一丁目31-2	228-1181
柳町	柳町3-22	223-4433	福平	下福元町7587-1	262-2900
川上	川上町17-2	243-4903	伊敷台	伊敷台一丁目31-8	229-7882
吉野東	吉野町5192-5	243-0917	宇宿中間	宇宿町330	265-8343
平川	平川町3511-1	261-4215	和田	和田一丁目43-23	269-8122
明和	明和一丁目27-2	281-5422			



和田福祉館

地域福祉を推進します

市社会福祉協議会

- ◇市社会福祉協議会 ☎221-6070
- ◇吉田支部 ☎294-2754
- ◇桜島支部 ☎293-2969
- ◇喜入支部 ☎0993-45-0221
- ◇松元支部 ☎246-7211
- ◇郡山支部 ☎298-2278

地域福祉館は身近な存在です

○今年4月、お違者クラブを立ち上げ、その活動に地域福祉館を活用しています。

○お違者クラブに足を運ぶ高齢者の人や地域の皆さんにとって地域福祉館は身近で足を運びやすい存在です。

○この6月からの地域福祉館の利用時間の延長や開館日の拡大は、地域の和を広げる活動や福祉活動を行う上で、利用しやすくなり、とても助かりますね。



米丸 トキ子さん (皇徳寺三丁目)

私たちが支援します



地域福祉館などと地域福祉支援員とが連携しながら、次のような支援を行います。

- ◇地域福祉活動への支援 福祉活動に対する助言や情報提供、活動場所の紹介、地域の団体が連携できるようにするための話し合いの場の調整など
- ◇ボランティア活動の支援 地域でボランティアに取り組みたい人やボランティアを求め人へのボランティアセンターと連携した情報提供など
- ◇福祉情報の提供など 福祉に関する相談への対応と説明・助言、専門窓口の紹介、民生委員・児童委員への取り次ぎ
- ◇地域の福祉活動の実態把握 地域の団体が行っている福祉活動への支援を行うための情報収集



連携して、団体の活動の相互の橋渡しや皆さんの活動現場を訪問して活動内容を聞くなど、小地域ネットワーク活動を盛り上げていきます。

地域ネットワーク活動の悩みがあれば、気軽にご相談ください。詳しくは、地域福祉課、市社会福祉協議会各支部へ

地域福祉館などを拠点に 地域福祉ネットワークを構築



連携することで地域を元気に

連携して、団体の活動の相互の橋渡しや皆さんの活動現場を訪問して活動内容を聞くなど、小地域ネットワーク活動を盛り上げていきます。

地域ネットワーク活動の悩みがあれば、気軽にご相談ください。詳しくは、地域福祉課、市社会福祉協議会各支部へ



支え合い、安心して暮らせるまちに

少子高齢化の進行など、地域の社会環境が大きく変化する中、誰もが住み慣れた地域で、安心して健やかに暮らし続けられるまちづくりを進めることが、今、地域にとって大きな課題となっています。

本市では地域のさまざまな福祉活動を行う団体を支援し、連携した福祉活動が行われるようにネットワークの構築に取り組んでいます。

【地域福祉課216・1245】

連携は地域の推進力

小地域ネットワーク

小地域ネットワークは地域の活動にとっても大切なもの

地域では住民や町内会などが見守り活動など、さまざまな福祉活動を行っています。しかし住民一人一人や一つの団体ではできることに限りがあり、困ったことに突き当たることがあります。

そんなとき、それぞれの団体や個人が網の目のようにつながって、情報を共有し、協力しながら活動を行うことができる「ネットワーク」があればどうでしょう。

特性も活動分野も違う団体や個人が「ネットワーク」でつながれば、それぞれ知恵や経験などを出し合うことで、問題が解決できたり、目標を効率よく達成することが多くなり、地域の活動を活性化することができます。

本市では校区社会福祉協議会(校区社協)や地域のさまざまな団体が連携して福祉活動を行う「小地域ネットワーク」と地域福祉館などを拠点として、活動の支援を行う「地域福祉ネットワーク」の構築を目指しています。

みんなでしあわせ みんながしあわせ 支えあうまちかごしま

6月から変わります 地域福祉館の機能を充実

地域福祉館はこれまで生きがいやコミュニティづくりなどの場として利用されてきました。6月から小地域ネットワーク活動やボランティア活動への支援や福祉に関する相談、情報提供なども行っていきます。

開館時間も市民の皆さんがより利用しやすいように延長し、休館日を月1回にします。

なお、吉田・桜島・喜入・松元・郡山においては、市社会福祉協議会の支部を拠点として、その役割を果たしていきます。

地域ではこんな取り組みをしています

【吉野しあわせ会】

「吉野しあわせ会」は吉野地区福祉推進会議での地域福祉計画の協議の中で、団体間の交流や情報交換を行うことの大切さを改めて確認し、平成19年8月発足しました。

市が実施している「お違者クラブ」やNPO法人など、地域の生きがいづくり活動を行っている人が参加しています。

「寄って語って、聴いて楽しんで元気を出そう!」の合言葉のもと、会員の皆さんは「高齢者や子どもたち、障害者が明るく、幸せに暮らせるまちづくり」を目指してさまざまな活動を続けています。



清掃活動の様子

【松元地区の福祉マップ作成】

松元地区の4校区社協では、代表メンバーによる実行委員会を組織し、市社協松元支部の支援や市の助成制度の活用、福祉施設などからの協賛を受け、地域住民が福祉に関する情報をより広く、より得やすくなるため、昨年12月に福祉マップを作成し、町内会などを通じて地区の全戸に配布しました。

同地区校区社協連絡協議会の松元会長は「今回の取り組みを通じて連携の必要性を一層感じました」と話してくれました。



連携が期待される地域の福祉活動

- ◇あいさつ運動
- ◇ボランティア活動研修会
- ◇世代間の交流イベント
- ◇子育てサロン



地域に溶け込んだネットワーク活動を

○4月から谷山地区の32の町内会で高齢者や子どもたちを見守る活動をネットワーク化した「たにやま安心ネットワーク」を立ち上げました。

○このネットワークが、「地域の真心、見守り、結び合い、地域の目玉」となってほしいです。

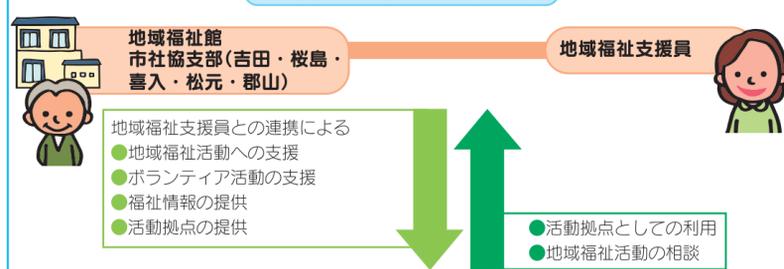
○このネットワークに結びついたのは、地域全体で連携して「見守り支えあう活動」を進めてきたことが大きいですね。また地域福祉支援員も積極的に参加していただいたことはありがたいです。

○地域が活性化するには、地域が動かなければ始まりません。これからも地域のために努力していきたいですね。



尾方 洋一郎さん (谷山校区社会福祉協議会 会長)

地域福祉ネットワーク



小地域ネットワーク

